

## 編集後記

昨年度の第4号に引き続いて、ここに、研究紀要第5号を刊行する運びとなった。開学5年目を迎えて、多くの教員の移動があり、また入学者の定員の大幅な増加が図られ、学生の指導・教育に集中的に取り組まなければならない条件の中で、研究活動の成果を研究紀要にまとめることができたことは、大きな喜びである。ご協力をいただいた方々に厚くお礼を申し上げます次第である。

研究紀要第5号は、課題研究論文、自由研究論文及び研究報告から成っている。課題研究のテーマとして、(1)「教養教育および教職教育の現状と課題」、(2)「保健体育教師教育と学校スポーツコース」、(3)「大学におけるスポーツマネジメントのカリキュラムの現状と課題」という3つのものを設定し、(1)については共通・教職群に所属する3名の教員、(2)については学校スポーツコースに所属する3名の教員および1名の助手、(3)についてはスポーツビジネスコースに所属する3名の教員に執筆していただいた。合計8編の論文には、本学の研究と教育の特色がよくあらわれていると考えている。

自由研究論文については、編集規程に基づく慎重な査読・審査の結果、3編の論文が採択された。また、研究報告として、7編の論文、報告を掲載することができた。

自由投稿論文については、下記の方々に査読をお願いした。忙しいところ査読をお引き受けいただいた方々に厚くお礼申し上げます次第である。

また、例年通り、英文要約のチェックをご担当いただいたS.ユゴビッチ先生に厚くお礼を申し上げます次第である。

なお、本年度は、全学的な広がりをもつ学術委員会が設けられ、従来の研究紀要編集委員会はそのサブ委員会として位置付けられた。学術委員会および研究紀要編集委員会では、今後、研究紀要のさらなる充実と発展を図るための活動に取り組んでいく所存である。第5号に対する忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

### 自由投稿論文査読者氏名

大久保衛，小笠原悦子，金森雅夫，渋谷俊浩，長瀬整司，海老島均，青木豊明，新宅幸憲  
江刺幸政，佃文子，鳥羽賢二

学術委員会委員長 金森 雅夫  
研究紀要編集委員会委員長 山口 満